

所属学科：理学部 生物化学科 4年

氏名：荒谷 翔太郎

派遣期間：2019年3月12日から2019年3月19日

派遣先：台湾師範大学

はじめに

今回のプログラムの参加にあたり、サポートしてくださった台湾師範大学の先生や学生方、山口大学関係者の方にこの場をお借りしてお礼申し上げます。私は台湾師範大学に2019年3月12日から2019年3月19日の間台湾師範大学のプログラムに参加しました。今回の目的として初めての留学だったので、海外の大学ではどのようなことをしているのか、そして台湾はどのような場所なのかということを知るという目的で参加しました。

日程

1日目 顔合わせ ウェルカムパーティー

2, 3日目 授業

4日目 観光

5～7日目 フィールドワーク

8日目 授業

台湾師範大学で行った授業

今回のスプリングプログラムは関西学院大学の方も参加しており、学生の専門分野もさまざまであったということもあり生物だけでなく、化学や地学のような私の専門外の授業も体験した。特に6日目に行った断層の長さを調べるフィールドワークに関しては大きなものさしのようなものにメジャーや角度を測る道具等を使って測定を行った。このような道具を使ったことがなかったのでとてもいい体験になりましたし、昔台湾では大きな地震があつてそれによりある小学校が崩れてしまったということがあつた。その小学校は博物館になっており、地震で崩れた建物や曲がった線路等を残して地震で起こったことを私たちに教えてくれた。日本でも東日本大震災や熊本の地震等があつたが、改めて地震の恐ろしさを学ぶことができた。



図1 フィールドワークの様子



図 2 台湾の地震を聞いている様子



図 3 血液の実験の写真

### 台湾での生活

台湾は気候が暖かく、沖縄に近いということもありトロピカルフルーツが安価で食べられる。トロピカルフルーツだけでなく、自由時間のときには台湾師範大学の学生の方にお勧めのお店や夜市にも連れて行っていろいろなご飯を食べることができた。ご飯を食べる時も大学周辺だけでなく、MRT という地下鉄を使って少し離れた場所でご飯も食べた。場所は離れていても MRT は 10～15 分程度に 1 本のペースで来るのでとても便数も多く、安価で乗ることができた。このときも台湾師範大学の学生の方が道案内をしてくださったので安心して移動することができた。



図 4 夜市での写真



図 5 台湾で食べたもの

### おわりに

今回のプログラムに参加して台湾師範大学での授業でいろいろなことを知ることができ、台湾がどういう場所なのかということを知ることができた。これも台湾師範大学の先生や学生の方が親切にそしてわかりやすく教えてくださったからこそ知ることができたと思う。特に英語で学生と会話をするときには私の英語が理解できなくても一生懸命理解しようと聞いてくださり、こちらも頑張って伝えようという思いになった。コミュニケーションでは一生懸命聞いたり伝えたりするという大切さを改めて学ぶことができた。この貴重な体験を今後の生活に活かしていけたらと思う。

改めて、今回のプログラムでサポートくださった台湾師範大学の先生や学生の方、この台湾に行くための準備や支援をくださった山口大学関係者の方に心より感謝申し上げます。